

## 2020年以降を見据えた文化プログラムの推進について

平成28年3月2日  
内閣官房オリパラ事務局  
内閣官房知的財産戦略推進事務局  
文化庁  
東京都生活文化局

### 1. 文化プログラムの意義

2020年は、文化プログラムを通じて日本の魅力を発信する絶好の機会である。この機会に、2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーを創り出すことが求められており、こうしたレガシー創出に資する文化プログラムを「beyond 2020プログラム」として認定し、日本全国に展開する。

### 2. 「beyond 2020プログラム」の推進体制

「beyond 2020プログラム」の推進にあたっては、国と東京都が一体となって展開することで、日本全国で盛り上げを図ることが重要である。

### 3. ロゴマークの作成及び事業の認定

オールジャパンで統一感をもって「beyond 2020プログラム」を推進するためにはロゴマークが必要であることから、国と都が連携し、関連事業に付与する「beyond 2020マーク」を国が早急に作成する。事業の認定は、関係行政機関が行う。

#### 4. 「CULTURE & TOKYO」ロゴとの連携について

都内の文化プログラムについては、都のブランドロゴである「CULTURE & TOKYO」と「beyond 2020 マーク」の連携の方法について検討する。

#### 5. 「beyond 2020 プログラム」の運用

「beyond 2020 プログラム」を通じて、我が国の文化の向上に取り組む中で、障害者にとってのバリアや訪日外国人にとっての言語の壁を取り除き（パラリンピック及び国際化への対応）、すべての人が参画できる社会に向け、企業等の行動に変革を促す仕掛けとする。